

令和6年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
数 学	数学 I	3	1-A

1. 学習の到達目標

各単元を通じて、高等数学に必要な基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・計算力・判断力といった数学的素養を身につける。数学的思考を身につけ、数学における身近な応用例を学ぶことで、より良く生きる力を育む。また、数学的根拠をもとに物事を多面的に捉え、判断する能力を養うことで、人権を尊重する態度を身につける。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	One-week トライアル0 1 (基礎力診断テスト) 第1章 数と式 第1節 式の計算 1～2. 多項式の加減と乗法 3. 因数分解 第2節 4. 実数 5. 根号を含む式の計算 第3節 1次不等式 6～8. 不等式の性質 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1～2. 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの基礎・基本の復習をする。 ・中学校で学んだ事の再確認をするとともに、多くの問題を解くことによって、計算力を養う。 ・数量の関係や法則などを一般的に、かつ簡潔に表現・処理し、一元一次方程式・不等式を用いて課題を解決する能力を培う。 ・関数とそのグラフについて理解し、関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。
2 学 期	One-week トライアル1 1 (基礎力診断テスト) 第2節 2次関数の値の変化 3～4. 2次関数の最大・最小、応用 第3節 2次方程式と2次不等式 5～6. 2次方程式、2次関数のグラフとx軸の位置関係 7. 2次不等式 第4章 図形と計量 第1節 三角比 1～3. 三角比の相互関係 第2節 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの基礎・基本の復習をする。 ・2次方程式・不等式を関数的視点から考察する。 ・数学的根拠をもとに物事を多面的に捉え、判断する能力を養うことで、人権を尊重する態度を身につける。 ・正弦定理や余弦定理を具体的な問題の解決や測量などに活用することを通して、「計測不可能な長さを、角の大きさを用いて測る」という数学のよさを認識できるようにする。
3 学 期	One-week トライアル1 2 (基礎力診断テスト) 4～7. 三角比の定理と求積法 8. 空間図形への応用 第2章 集合と命題 1. 集合 2. 命題と条件 3. 逆・対偶・裏 4. 命題と証明 第5章 データの分析 1～4. データの整理 5. データの相関	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校までの基本・数学 I の復習をする。 ・三角比の空間的応用を学ぶ。 ・集合及び命題について学習することにより、数学的な表現の基礎を身に付け、数学の内容をより深く厳密に考える力を培う。命題については、集合の包含関係と関連付けて理解できるようにする。 ・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査・確認テスト・課題提出・授業に取り組む姿勢によって評価する。
------	------------------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し身に付ける。各単元における基本的な演算方法や定理を習得し、活用することができる。	事象を数学的に考察し、数学的知識・技能を応用して問題に取り組む姿勢や議論の方法を身につける。	数学の論理や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする授業に取り組む姿勢を身につける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新編数学 I (数研出版)
副教材	Study-Up ノート数学 I (数研出版)